

運営費交付金債務及び当期振替額の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位：円)

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				小計	期末残高
			運営費交付金収益	流動資産見返運営費交付金	固定資産見返運営費交付金	建設仮勘定見返運営費交付金		
平成23年度	—	2,304,448,000	1,976,043,310	618,454	46,478,254	—	2,023,140,018	281,307,982
合計	—	2,304,448,000	1,976,043,310	618,454	46,478,254	—	2,023,140,018	281,307,982

(2) 運営費交付金債務の当期振替額の明細

平成23年度交付分

(単位：円)

区分	金額	内訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	1,976,043,310
	流動資産見返運営費交付金	618,454
	固定資産見返運営費交付金	46,478,254
	建設仮勘定見返運営費交付金	—
	計	2,023,140,018
会計基準第81第3項に基づく運営費交付金収益への振替額	—	
合計	2,023,140,018	

下記損益等に対し運営費交付金債務を振替。
 ①損益計算書に計上した額 2,464,553,340 (業務経費：1,812,909,366、一般管理費：614,760,404、財務費用：36,883,570)
 ②リース債務返済 56,129,901
 ③自己収入等計上額 544,639,931
 ④流動資産取得 618,454 (たな卸資産)
 ⑤固定資産取得 46,478,254 (機械及び装置：637,000、航空機部品：38,578,354、車両運搬具：2,102,170、工具器具備品：5,147,030、預託金：13,700)
 ※予算上の業務収入(損益取引額)に継いで充てることとしている。

(3) 運営費交付金債務残高の明細

交付年度	運営費交付金債務残高	残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	281,307,982
	計	281,307,982

運営費交付金債務残高の発生理由は、運航経費の契約差金や東日本大震災及び帯広訓練機事故の影響による運航経費の減少に伴い、運営費交付金の収益化額が計画を下回り、翌事業年度に繰り越したものである。(運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。)